

令和3年12月17日

各地区連合自治会・町内会長 各位

横浜市旭消防署長

令和4年度旭区家庭防災員地区代表連絡員の推薦について（御依頼）

師走の候 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、地域の防火防災に特段の御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度におきましても各地区連合町内会の家庭防災員のまとめ役として地区代表連絡員を御選出していただきますようお願い申し上げます。

1 推薦要領

- (1) 各地区連合町内会1名の御推薦をお願いします。
- (2) 任期はございませんので、引き続き令和3年度の地区代表連絡員の方を御推薦していただいても構いません。
- (3) 家庭防災員として活動されている方、又は家庭防災員研修を受講された方をお願いします。

2 推薦方法

令和4年2月28日（月）までに、別紙「地区代表連絡員推薦書」に御記入いただき、返送用封筒にて旭消防署総務・予防課まで御返信をお願いします。

3 その他

地区連合自治会・町内会長の交代される場合は、次期会長への御説明、及び引継をしていただきますようお願いいたします。

連絡先

旭消防署総務・予防課 浦口・宮崎

TEL・FAX 951-0119 (内線 31)

年 月 日

旭 消 防 署 長

地区連合町内会名 _____

会 長 名 _____

地 区 代 表 連 絡 員 推 薦 書

令和4年度の地区代表連絡員として、次の方を推薦いたします。

自治会・町内会名	
ふりがな	
氏 名	
住 所	
電 話 番 号	

令和3年12月17日

各自治会・町内会長 各位

横浜市旭消防署長

令和4年度家庭防災員研修受講者及び連絡員の推薦について（御依頼）

師走の候 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、地域の防火防災に特段の御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今後発生が危惧される、大規模災害による被害を軽減するためには、「自助」とともに「共助」の重要性がますます高まっています。

家庭防災員研修を通じて、自らの家庭を守るための知識や技術を身に付けていただくとともに、共助の重要性についても理解を深めていただくことで、地域における防災活動の担い手として活躍していただくことを期待しています。

令和4年度におきましても御推薦くださいますよう御依頼申し上げます。

1 家庭防災員研修受講者の推薦

- (1) 満15歳以上の方
- (2) 推薦人数は、自治会・町内会の事情にあわせて御推薦をお願いします。
- (3) 既に家庭防災員として活動されていても、あらためて研修の受講を希望されている方の御推薦も可能です。

2 連絡員の推薦

- (1) 各自治会・町内会における家庭防災員の方々の連絡調整等を実施していただく連絡員1名の御推薦をお願いいたします。
- (2) 連絡員は既に家庭防災員として活動されている方、又は家庭防災員研修を受講される方を御推薦して下さい。

3 推薦方法

令和4年2月28日（月）までに、別紙「家庭防災員研修受講者・連絡員推薦書」にて、返送用封筒で旭消防署総務・予防課まで御返信をお願いします。

4 その他

自治会・町内会長の交代がありましたら、次期会長に御説明、及び引継ぎをしていただきますようお願いいたします。

5 募集チラシについて

募集チラシ（家庭防災員研修受講者募集）を、各自治会町内会ごとに 10
部配布いたします。推薦の際にご活用ください。

追加部数が必要になった際は、旭消防署まで御連絡ください。

連絡先

旭消防署総務・予防課 浦口・宮崎

電話・FAX 045-951-0119

年 月 日

旭 消 防 署 長

自治会・町内会名 _____

会 長 名 _____

電 話 _____

家庭防災員研修受講者・連絡員推薦書

令和 4 年度の家庭防災員研修受講者・連絡員として、次の方を推薦いたします。

研修受講者

	ふりがな 氏名	住 所	電 話 番 号
1			
2			
3			
4			
5			
6			

連絡員

ふりがな 連絡員氏名	住 所	電 話 番 号

◎ 依頼事項

- ・ 氏名は楷書で、ふりがなを付け、住所は棟室番号まで御記入ください。
- ・ 連絡員の推薦者で研修も受講される方は、研修受講者の欄にも名前をご記入ください。
- ・ 研修受講者及び連絡員の方は、自治会・町内会長のご推薦を受けるようお願いいたします。

旭 消防署総務・予防課

～横浜市消防局からのお知らせ～

家庭防災員 研修受講者 募集



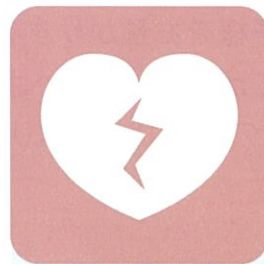
火災



風水害



地震



AED



心肺蘇生

研修受講要領

- 申込み：自治会・町内会を通じて推薦を受けて頂くようお願いします。
- 要件：満15歳以上の市内在住の方
- 研修期間：1年間（過去に家庭防災員の研修を修了した方も受講できます。）
- 日程・場所：詳細は、各区の消防署からお知らせします。
- 修了証：研修修了者には市長名の「修了証」を交付します。

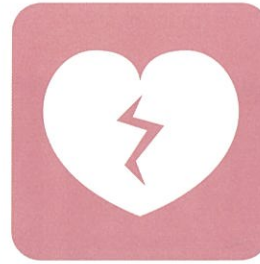
主な研修内容

出火防止対策や救命処置など、災害から身を守るための知識や技術を学びます。



防火研修

住宅防火対策など。



救急研修

救命処置要領
(AEDを含めた心肺蘇生法)
など。



地震研修

地震の知識や対応方法
など。



風水害研修

風水害の知識や対応方法
など。



災害図上訓練 (DIG)研修

参加者が地図に様々な情報
を書き込み、防災対策を
検討する訓練です。



スキルアップ研修

各区の実情・家庭防災員の
要望に応じたカリキュラム
(選択制)

- 約3時間の研修を3～4回で修了します。(各消防署により時間と回数が異なる場合があります。)
 - 平日以外にも研修を行います。
 - 研修中に小さいお子様をお預かりする「一時託児制度」があります。
 - 研修内容等については、各消防署へお問い合わせ下さい。
- ※ 新型コロナウイルスの感染状況により、研修が中止、延期、一時託児制度が利用できない場合があります。

各消防署連絡先

鶴見消防署	503-0119
神奈川消防署	316-0119
西消防署	313-0119
中消防署	251-0119
南消防署	253-0119
港南消防署	844-0119
保土ヶ谷消防署	342-0119
旭消防署	951-0119
磯子消防署	753-0119

金沢消防署	781-0119
港北消防署	546-0119
緑消防署	932-0119
青葉消防署	974-0119
都筑消防署	945-0119
戸塚消防署	881-0119
栄消防署	892-0119
泉消防署	801-0119
瀬谷消防署	362-0119

令和3年11月発行 横浜市消防局予防課
〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町 2-9
電話 045-334-6406 FAX 045-334-6610

デザイン制作 横浜デジタルアーツ専門学校